

2 平成 24 年中の火災の状況

(1) 火災状況～出火件数は 103 件、3.5 日に 1 件～

平成 24 年中の出火件数は 103 件で、概ね 3.5 日に 1 件の割合である。前年に比べて 11 件減少し、これは平成 22 年と並び、平成元年以降最も少ない出火件数である。

火災の状況は表 2-1-1 及び 2-1-2 に示すとおりである。

表 2-1-1 火災の状況（最近 5 年間）

平成	出火件数（件）												出火率 (件/万人)
	合計	建物						林野	車両	船舶	航空機	その他	
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発	小計						
20	117	8	0	22	24	0	54	3	17	0	0	43	3.8
21	125	9	3	14	35	0	61	2	12	0	0	50	4.1
22	103	3	2	24	24	1	54	2	15	0	0	32	3.3
23	114	5	2	22	30	1	60	1	15	0	0	38	3.7
24	103	7	2	6	35	1	51	1	9	0	0	42	3.3

表 2-1-2 火災の状況（最近 5 年間）

平成	焼損棟数 (棟)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	林野焼損面積 (a)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
20	66	46	110	1,471	522	10	403,394	2	13
21	71	63	146	1,696	355	1	172,988	6	16
22	64	43	99	631	311	18	109,061	2	6
23	69	57	117	1,466	182	140	142,764	3	16
24	67	39	80	3,320	108	10	470,132	3	9

火災種別ごとにみると、建物火災は51件（49.5%）で火災全体の5割弱を占めており、以下、その他の火災42件（40.8%）、車両火災9件（8.7%）、林野火災1件（1.0%）の順となっている。前年に比べて増加したのはその他の火災、減少したのは建物火災と車両火災で、林野火災は同数、船舶火災と航空機火災は発生していない。

火元建物を焼損程度別にみると、ぼや火災が35件で建物火災全体の68.6%となっており、以下、全焼火災が7件（13.7%）、部分焼火災が6件（11.8%）、半焼火災が2件（3.9%）、爆発1件（2.0%）の順となっており、焼損棟数は類焼も含め67棟となっている。

人口1万人当たりの出火件数を表す出火率は、3.3件／万人で、前年より0.4件／万人減少している。

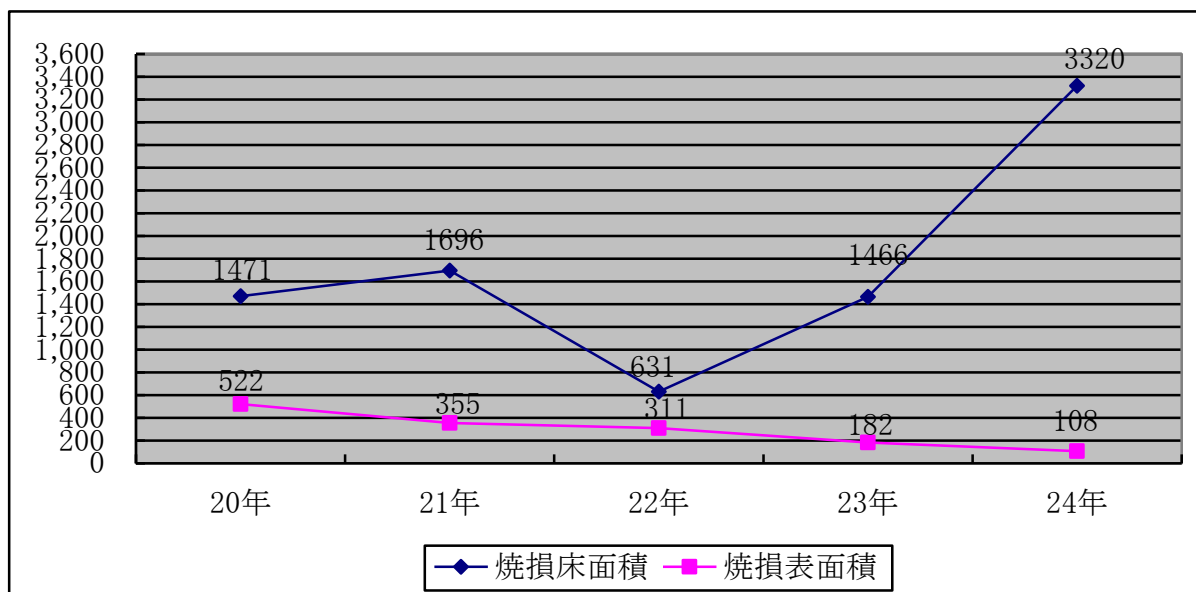
(2) 損害発生状況～焼損床面積増加～

ア 焼損床面積

焼損床面積は3,320㎡で、前年と比べて1,854㎡増加している。一方、焼損表面積は、108㎡で前年に比べて74㎡減少している。

建物火災以外からの類焼も含む焼損床面積及び焼損表面積の推移は、図2-2-1に示すとおりである。

図 2-2-1 焼損床面積及び焼損表面積の推移（最近5年間、単位：㎡）



イ 林野火災の焼損面積

林野火災は1件で10a（アール）焼損し、前年と比べて130a減少している。

（参考）1a = 100 m²

ウ 損害額

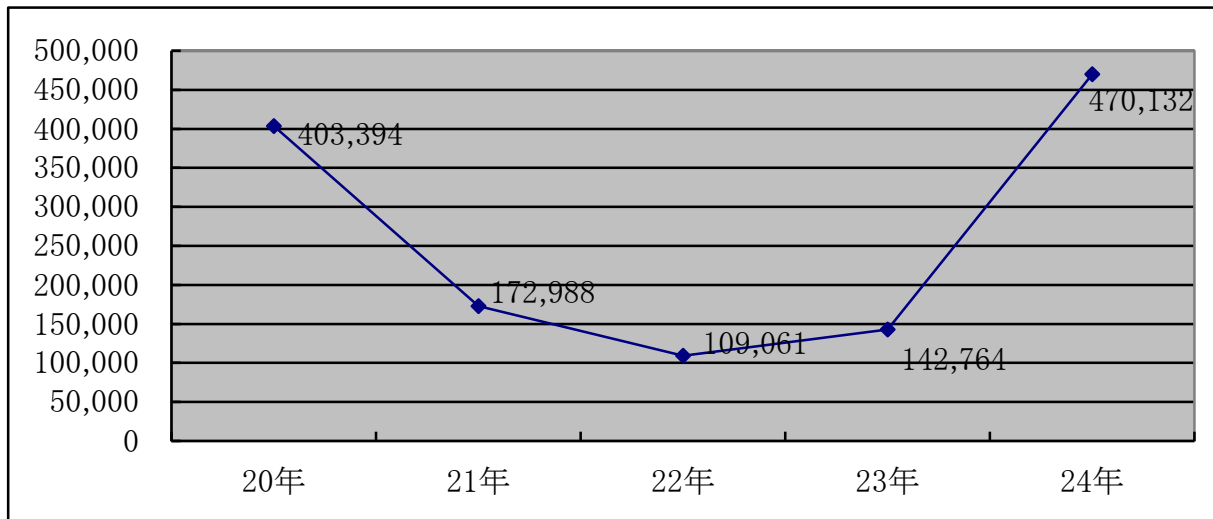
火災による損害は、火災原因の調査と同様に調査を行い、その調査結果から損害額を算定している。

平成24年中の火災による損害額は4億7,013万2千円で、前年と比べて3億2,736万8千円増加している。

4月に発生した倉庫火災による損害（4億2,759万2千円）の影響が大きな増加要因となっている。

損害額の推移は、図2-2-2に示すとおりである。

図 2-2-2 火災による損害額の推移（最近5年間、単位：千円）



損害額は、建物火災によるもの（爆発事案1件を含む。）が圧倒的に多く、4億6,447万5千円で全火災の98.8%を占め、次いで、車両火災が481万2千円（1.0%）、その他の火災が84万5千円（0.2%）となっており、林野火災では損害額は発生していない。

火災の種別ごとの損害額は、表2-2-1に示すとおりである。

表 2-2-1 火災種別ごとの損害額（単位：千円）

種 別	平成 23 年	平成 24 年	増 減
建 物 火 災	139,553	464,475	324,922
林 野 火 災	0	0	0
車 両 火 災	2,797	4,812	2,015
そ の 他 の 火 災	414	845	431
合 計	142,764	470,132	327,368

（参考）建物火災に爆発事案 1 件を含む。

(3) 出場車両等～延べ 1,806 人出場～

平成 24 年中に発生した全ての火災（事後聞知火災も含む。）に消防車両が延べ 496 台、消防吏員が延べ 1,806 人出場している。火災 1 件当たりでは、消防車両約 5 台、消防吏員約 18 人が出場したことになる。



建物火災の発生状況



車両火災の発生状況